



倭文神社で、  
あなたがあなたと  
出会う旅。

女・性・の・守・り・神

地元ガイドが  
倭文神社をご案内



精一杯つとめます!

倭文神社の由来、美しくなやかに時代を生き抜いた下照姫の物語を、地元のガイドが皆さんにご案内いたします。

※団体様（10名以上）でガイドをご希望の場合は湯梨浜町観光協会にご相談下さい。（有料）

奉納された願い札は  
毎月一日の月次祭にて  
お焚き上げを受けます



倭文神社の官司さんが皆さんの代わりに神様に感謝の気持ちを捧げ、願い札を浄火で燃やすことでさらなる諸願成就を祈念します。

下照姫ゆかりの地で感傷にひたる

<p>亀石</p> <p>伯耆國宇野の海岸まで下照姫を導いた海亀は、下照姫の帰りを待ち続けるうちに、とうとう石になってしまいました。 カメイシ</p>	<p>出雲山</p> <p>下照姫命が故郷を偲び、遠く出雲の方角を眺めていたと伝えられている出雲山。 イズモヤマ</p>	<p>宮戸弁天</p> <p>下照姫が釣りをしたという伝承が残る宮戸弁天。 ミヤドベンテン</p>
---	--	---

かほり袋  
授与所

■ はわい温泉・東郷温泉旅館組合  
湯梨浜町はわい温泉5-22  
TEL. 0858-35-4052  
(無休:9:00~18:00)



- JRで**
- JR最寄駅：倉吉駅（車で10分）
  - 大阪から特急スーパーはくとで約3時間。倉吉駅下車、車で10分。
  - 岡山から特急スーパーいなばで約2時間。鳥取駅で乗り換え、鳥取から特急で約30分。倉吉駅下車、車で10分。
- 車で**
- 大阪から中国自動車道、鳥取自動車道、R9。約3時間（鳥取ICから約50分）
  - 広島から中国自動車道、米子自動車道、R313、R179。約4時間（湯原ICから約60分）
  - 岡山から岡山自動車道、中国自動車道、米子自動車道、R313、R179。約2時間30分（湯原ICから約60分）

●お問い合わせ

湯梨浜町観光協会

〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい温泉5-22  
TEL(0858)35-4052 FAX(0858)35-4701

(受付/月~金 8:30~17:15) 湯梨浜町観光協会 <http://www.yurihama.jp/kankou/>

〔旧国幣小社・式内社〕  
「伯耆」ノ宮

ホウキイナノミヤ シトリジンジャ

# 倭文神社



- ◆ 鎮座地：鳥取県東伯郡湯梨浜町宮内754
- ◆ 創建：不明
- ◆ 御祭神：建葉槌命(主神)、下照姫命、事代主命、建御名方命、少彦名命、天稚彦命、味耜高彥根命
- ◆ 国宝：銅経筒・金銅観音菩薩立像、その他(銅鏡・銅銭、るり玉、松扇残片、短刀/刀子残欠、漆器残片など)。

※現在は東京国立博物館所蔵



拜殿は1818年(文化15年)に再建された。流造(なかけづくり)の落ち着いた佇まいは伯耆一ノ宮の格式を今に伝えている。



### ◆ 倭文神社配置図 ◆

- 本殿
- 社務所
- 手水舎
- 経塚入口
- 随神門
- 鳥居
- 「夫婦岩」
- 「安産岩」
- 社号標
- 国宝指定の銅経筒出土
- 経塚

◆ 駐車場 ◆  
自動車20台 観光バス2台

◆ 主な祭典 ◆  
毎年5月1日 例祭  
午後には神輿の神幸があります

○伯耆一ノ宮経塚  
境内山林にあり、古くから当神社の祭神である下照姫命の墓と  
言い伝えられてきたが大正4年、経塚の中から平安時代初期の  
銅経筒を始め仏像、銅鏡、るり玉などが発掘され出土品は全て  
国宝に指定

## 千百有余年の時代の流れ

### 古事記のなかの下照姫

下照姫(命)は大国主命の娘として生まれました。農業や医療の技術に長けており、大国主命と力を合わせて出雲の国づくりに励みま  
した。  
そんなおり、天照大御神は天稚彦という神を遣わし、出雲の国譲り  
を要求しました。ところが天稚彦は下照姫と恋に落ち、結婚するま  
でに至りませんでした。  
下照姫と天稚彦との幸せな日々は長くは続かず、天稚彦は天照大  
御神から遣わされたキジを射殺したことが原因で、天照大御神によ  
りこれもまた射殺されてしまったのです。  
下照姫は最愛の夫の死、国譲りによる出雲との別離などを乗り越  
え、一匹の海亀の導きにより「伯耆國宇野の海岸に着船しました。  
小高い丘からの眺めに心を奪われた下照姫はこの鎮座地を新たな住  
居に定め、農業指導や医療普及に努め人々から尊敬を集めました。



下照姫の優しさと美しさを香りに込めて  
倭文神社参拝の必携アイテム！  
湯梨浜オリジナルの「かほり袋」が誕生しました。  
美しくしなやかに時代を生き抜いた下照姫の  
芯の強さをかほり袋から感じて下さい。



生地には、かつて当地で生産されていた倭文織(しずおり)をモチーフにした、素朴な麻を使用しました。  
※かほり袋は裏面の各販売所にて  
1個660円(税込)で販売しております。

※各販売所の詳細は最終ページで

貴方を誘う三つのかほり

- ◆ 下照姫の優しさを…「ぬくもり」
- ◆ オレンジピール+マリーゴールド
- ◆ 下照姫の美しさを…「みやび」
- ◆ ローズピンク+ローズレッド
- ◆ 倭文神社の魂の再生を…「こころ」
- ◆ ローズマリー+マリーゴールド

古代料理

奈良時代の貴族料理を現代風にアレンジ。  
はわい温泉・東郷温泉の下記旅館で  
お召し上がりいただけます。  
悠久の時代に想いを馳せながら  
古代料理をお楽しみ下さい。



※写真は一例です

- ◆ ご予約先
- はわい温泉
- 望湖楼 …… ☎0858(35)2221
  - ゆの宿 彩香 …… ☎0858(35)3311
  - 千年亭 …… ☎0858(35)3731
  - 羽衣 …… ☎0858(35)3621
- 東郷温泉
- 湖泉閣 養生館 …… ☎0858(32)0111
  - 国民宿舎 水明荘 …… ☎0858(32)0411
- ◆ お問い合わせ先
- はわい温泉・東郷温泉旅館組合  
☎0858(35)4052

## 神様に願いを届ける



### 参拝方法

- 鳥居の前で神様に一礼
- 参道は端を歩く(中は神様の通り道)
- 手水舎で身を清める(左右の手を洗い、口をすすぐ)
- かほり袋に添付してある願い札に願事を書く(二枚複写になっています)
- 二枚目の願い札に印を押して、自分のかほり袋に入れる  
※印は社務所前に置いてあります
- 一枚目の願い札を拜殿の奉納箱に納める
- 賽銭箱にお賽銭を入れる(欲して投げ入れない)
- 神様にお願いを(二拝二拍手一拝で)
- 拜殿に向き直り、一礼してから鳥居を出る